

この子たちが自分の孫みたいに感じて

～2014年度 岩手ボランティアバス～

第7回
(8月10日～13日)

50名参加



第6回
(7月30日～8月2日)
24名参加



「きれいになるようにがんばる」
雑草抜き(上長部^{かみおさべ}の郷)

3回目の参加です。陸前高田の花火大会では、露店にたくさんの子どもたちが目を輝かせて歩き回っていた。その笑顔の間を歩き回ることが、こんなに嬉しい事と感じている自分に気づきました。この子らが自分の孫みたいと感じ、このイベントが心の糧となり積み上がっていく10数年後には祭りを担っていると思う。

(第7回に参加)

枚方市・金子さん）



第6回ボランティアバスは、12歳から74歳という幅広い年代が参加され、仮設住宅の集会所で“たこ焼き”を一緒に焼いたり、上長部の郷にある畑をきれいにしたりしました。

第7回は、震災から3年5カ月目の月命日
8月11日に開催された、陸前高田市での「鎮
魂と復興を願う花火大会」で“こども縁日”
“たこ焼き”などを行い、
祭りを賑わせました。



こんなにも近くで被災地を見たのは初めてで、本当に考えさせられるものがありました。釘子さんの話で陸前高田市はとても活気のあるいい町であったと分かりました。全て一からの街づくり…。でも陸前高田という故郷を取り戻すため諦めずに頑張っている方々を見て、とても胸があつくになりました。そういったことを考えながら、奇跡の一本松を見たとき、これが今の陸前高田の象徴『生きていく強さ』だと思いました。

（第6回に参加）城東区・新井さん 17歳

くらしを守る
署名と募金に
ご協力ください

「被災者生活再建支援制度の抜本的拡充を求める」署名
「核兵器禁止条約の交渉開始等を求める要請書」署名

(この「ぱるタイム」にとじ込んでいます。提出方法など詳しくは8ページへ)